

【 診療科:消化器外科 】
 【 レジメン登録番号:SG-56 】

〈 XP + Trastuzumab療法 〉

	投与量	投与経路	投与スケジュール(day)														
			1	2	3	4	5	6	7	8	14	21			
シスプラチン	80mg/m ²	div	○														
ハーセプチン	初回8mg/kg 2回目以降 6mg/kg	div	○														
ゼローダ	<1.36m ² 1,200mg/回 1.36~1.66m ² 1,500mg/回 1.66~1.96m ² 1,800mg/回 1.96m ² ≤ 2,100mg/回	p.o.	○	←					1日2回 朝・夕食後 2週間投与						→	○	

【1コース期間: 21日】 【総コース数: PDとなるまで】

【適応癌種: HER2陽性進行・再発胃癌および胃食道接合部癌】

【時期: 術前、術後、手術不能・進行・再発】

【休薬・減量に関する要件】

項目	基準	減量内容	休薬時の再開基準

投与プロトコール

〈day1〉	Rp	薬剤名	投与経路(速度)
	Rp.1	トラスツマブBS※1	div(初回90分以上、 2回目以降30分 まで短縮可)
		生理食塩水 250mL	
	Rp.2	フィジオ140 500mL	div(90分で)
	Rp.3	フィジオ140 500mL	div(90分で)
	Rp.4	5-HT ₃ R Blocker 1A	div(15分で)
		デキサート 9.9mg	
		生理食塩水 100mL	
	Rp.5	マンニトールS 300mL	div(30分で)
Rp.6	シスプラチン 80mg/m ²	div(2時間で)	
	生理食塩水 500mL※2		
Rp.7	ソリューゲンF 500mL	div(90分で)	
Rp.8	ソリューゲンF 500mL	div(90分で)	
Rp.9	ソリューゲンF 500mL	div(90分で)	
〈day2,3〉	Rp	薬剤名	投与経路(速度)
	Rp.1	デキサート 6.6mg	div(15分で)
		生理食塩水 100mL	

【参考文献:Yung-Jue Bang, et al. Lancet, 2010 ; 376 : 687-697】

【備考: 維持ルートは、別途注射カレンダーより、オーダされる。】

【備考: ※1・・・初回 8mg/kg, 2回目以降 6mg/kg。】

【備考: ※2・・・生理食塩水の量はシスプラチンと合わせて500mLとなるようにする。】

【変法情報:】